

令和7年度 牧之原市立榛原中学校 学校評価

校長名

杉田 雅良

1 昨年度の成果と課題

- | | |
|------------------------------------|--------------------------|
| ○上級生ほど何事にもまじめにコツコツ取り組む姿勢が身に付いている。 | ●自分を律し、正しい判断ができる。 |
| ○学校全体で体育大会や文化発表会に団結し熱くなれる。 | ●他者との対話を通して学びを深める授業づくり。 |
| ○生徒会5つの誇り(あいさつ、服装、時間、清掃、合唱)を意識した生活 | ●学習を始めとした学校生活全体への主体性や積極性 |

2 本年度の基本方針(経営の重点)

- | |
|------------------------------------------|
| 1 誰一人取り残さない教育を推進する。 |
| 2 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業づくりを推進する。 |
| 3 「地域の学校」としての自覚を持ち「地域が誇りにできる」学校づくりを推進する。 |
| 4 キャリア教育を軸とした小中一貫・小中連携教育を推進する。 |

3 具体的な取組

目標	具体的な取組	成果目標	評価	成果と課題
○誰一人取り残さない教育を推進する。	・あらゆる生徒の居場所づくりと学びの充実(相談室・日本語指導教室・教育支援センター) ・専門家や関係機関との連携	・学校が楽しい85%以上、自分にはよいところがある85%以上(生徒) ・常に生徒理解に努める。年間4回の個別面談の実施	A	・楽しい89.0%、よいところがある85.8%の生徒評価、また上級生の評価が高いことから中学校生活の充実が伺える。 ・教育支援センターや福祉課等、関係機関との連携が進んだ。
○個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業づくりを推進する。	・研修テーマ「よりよいを目指して、自ら学び続ける」の実践 ・振り返りができる「過程」と「場」を設定した授業	・学習に夢中になれた80%以上、自ら学び、かかわりを通して粘り強く自分を高めようとした85%以上(生徒) ・実践を語り合える校内研修	B	・夢中になれた77.3%、自分を高めようとした88.0%の生徒評価から、活発な校内研修の積み重ねの成果が感じられる。
○「地域の学校」としての自覚を持ち「地域が誇りにできる」学校づくりを推進する。	・学校の経営や運営に関する熟議のある学校運営協議会 ・地域発信、地域貢献活動の充実	・生徒の姿を実際に見てもらっての学校運営協議会の運営 ・地域行事への積極的な参加と地域への発信の強化	B	・日本語指導教室を始めとした授業参観からの熟議の結果、支援ボランティアが確保できた。 ・地域の祭における吹奏楽部演奏 ・災害時の自発的なボランティア
○キャリア教育を軸とした小中一貫・小中連携教育を推進する。	・地域の人材が積極的に学校運営に参画する。 ・教員、子供の中学校区の交流実践	・キャリア実践における地域人材の活用延べ人数100人以上 ・学区特別支援学級交流会の実践	A	・1年防災教育、2年職場体験、3年未来プロジェクトへ100名以上の協力を得られた。 ・交流会は大盛況で、教員の指導力向上にも効果があった。